

総合計画審議会 各分科会におけるご意見・ご提案に対する検討・対応状況について

資料No.3-2

【第2分科会】

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
1	共通	共通	-	施策	飯塚委員	内容に抑揚をつけて、市として何を一番問題に考えていて、どのような施策を打つべきか、示せないか。	参考	総合計画として注力していくべきことは、第1部総論の重点戦略において示しており、戦略1～5の中で、具体的な施策レベルで例示している。
2			-		深川委員	建物の修繕等に関する箇所、特に表現が具体的すぎるように感じる。	参考	公共施設の老朽化は、本市にとって重要な課題であり、人口減少社会に応じた中長期的な視点で公共施設の整備をしていく必要がある。このため、公共施設の修繕に関する記載箇所では、「公共施設マネジメント基本方針」に基づき「富士市公共施設再編計画」を策定し計画的に進めており、こうした取組に基づく表現としている。
3			-	写真	渡邊委員	写真に題名をつけることはできないか。	修正	使用する写真については、できる限り題名をつけ、どのような事業であるかわかるように修正。
4			-		来住委員	写真にキャプションをつけ、何をしている様子か、政策にどのようにつながっているかイメージできるようにしてほしい。	修正	同上
5			-	グラフ	井出委員	グラフの期間がバラバラである。令和2年度の値はもう出ているはずなので、揃えた方が良い。	修正	グラフについては、令和2年度の最新値が出ているものは、数字を更新する。また、令和元年度以前の数値が最新である場合には、その旨明記するように修正。
6			-		井出委員	施設改修やコロナの影響で落ち込んでいるようなグラフは原因についてコメントを入れた方が良いのではないか。	修正	特に令和2年度において、コロナの影響により、特異な変化を示しているグラフについては、写真や他のグラフなどに差し替え。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容					
7	基本目標2	1 子育て	57	現状と課題1	井出委員	15～39歳までの有配偶者の出生率が低迷していることが明記されていない。	参考	第1部総論・第4章重点戦略の中で少子化について記述しているため、ここでは、記述はしないことを考えている。					
8					井出委員	結婚していない人が増えていることについて、原因にも踏み込んで触れるべきではないか。	参考	上記と同じく、重点戦略の中で未婚率の増加について記述しているため、ここでは記述しないことを考えている。					
9			基本方針2	井出委員	「はぐくむFUJI少子化対策プラン」を含めるべきではないか。	修正	関連計画については、巻末の参考資料に記載することを予定しており、その中に記載していきたい。						
10			-	関連計画	飯塚委員	待機児童ゼロが3年続いていることは富士市をアピールできる部分なので、そのことをアピールしながらやっていただきたい。	参考	待機児童ゼロは目標であり、結果としてついてくるものであるため参考とする。					
11		2 子ども・若者	政策分野	59・60	清委員	「子ども・若者」の政策分野名については、単名詞ではなく、複合語・複合名詞のような言葉にした方が、政策の意味をなすのではないか。	参考	「子ども」や「若者」を主体とした施策を広く位置付けていくことを考えており、このままの政策分野名としていきたい。					
12									現状と課題	井出委員	子どもの貧困が大きな社会問題となっているので触れなくて良いのか。	参考	子どもを取り巻く様々な問題については、現状と課題の1において、「様々な事情で配慮が必要な子どもが増加している」との文言に包含しているため、子どもの貧困について、特記することは考えていない。
13									現状と課題	井出委員	ヤングケアラー問題についても触れなくて良いのか。	参考	同上の理由による。現状、市の施策などで具体的に記述できる段階ではないため、今後、実施計画の中で対応していく。
14									施策1	田宮委員	障害児に対する取組について、根本的に考えていくことをスタートしていかなければならないのではないか。	修正	公立だけでなく民間幼稚園での支援についても記述を追加し、市としてより強力に取り組む姿勢を示すよう修正。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容		
15	基本目標2	2 子ども・若者	60	施策2	深川委員	高等教育機関の「誘致等」ではなく、「設置等」に修正していただきたい。	参考	現段階で具体的に示すことは難しいため、「等」で設置も含むものとして検討していく。		
16					清委員	「自立」ができるよう支援するということを盛り込んではいかがでしょうか。	修正	子どもの権利条例の制定目的としても大事であるので、基本方針の1に「自立した社会性のある大人に成長できる体制・環境づくりを進めることを記述し、修正。		
17				施策3	井出委員	「子どもの権利条例」について、計画内に入れなくて良いのか。	参考	条例制定前であるため、理念を謳うところまでの記述とする。		
18					井出委員	「富士市子ども・若者育成支援計画」の検証結果を活かすべきではないか。	参考	検証結果は盛り込み済み。		
19		3 学校教育	61	現状と課題	井出委員	子どもの貧困で就学援助費の支給状況が増加しているが、課題として入れるべきではないか。	参考	子どもの貧困については、政策分野2「子ども・若者」における取組で対応を図っていくため、ここでは記述しない。		
20				基本方針	田宮委員	ESDの推進について入れていくべきではないか。施策についても位置付けていく必要があるのではないか。	参考	理念について盛り込み済み。		
21					井出委員	国の子どもの貧困対策に関する大綱では、学校が貧困対策のプラットフォームであるとしているので触れた方が良いのではないか。	参考	子どもの貧困については、政策分野2「子ども・若者」における取組で対応を図っていくため、ここでは記述しない。		
22				62	施策2	井出委員	「GIGAスクール構想」において、「IT環境が貧弱な家庭への支援などを考えるべきではないか。	参考	個別の具体的な取組のため、総合計画では、記述はしない。	
23					施策3	深川委員	市立高校、看護学校、高等教育機関をマクロ的に富士市全体としてどうなのかを議論する委員会や場を作っていただきたい。人口減少時代において、市立高校をどうするか、あり方について議論することを入れていくべきではないか。	参考	現段階で施策等の中に追加することは考えていない。	
24				4 社会教育	63	現状と課題	井出委員	図書館のグラフに図書カード発行数も入れられないか。	参考	グラフに挿入することは可能であるが、カード発行数と実利用者数の乖離が大きいため、図書カード発行数ではなく実利用者数のグラフに変更。
25					63・64	基本方針1、施策1	井出委員	政策分野は「社会教育」で、施策が「生涯学習活動の推進」では、生涯学習の対象者が広義であり、違和感がある。	修正	社会教育と生涯学習の対象範囲を考慮し、基本方針の1の文言や施策名を「多様な学びの場の充実」に修正。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
26	基本目標2	4 社会教育	64	施策1	清委員	親学を社会教育の中に盛り込んでどうか。	参考	親学は、人づくり講座の中で行っており、本計画内に特記することは考えていない。
27				施策1	深川委員	諸外国のコミュニティカレッジのような職業関係の講座などを入れたらどうか。	参考	キャリアアップのためのセミナー等については、基本目標5・政策分野4の中小企業等振興の中で取り組んでいく。このため、現段階では施策として記述することまでは考えていない。
28					田宮委員	SDGsの教育について社会教育の中に盛り込んでどうか。	参考	SDGsについては、めざす都市像の実現に向けた基本姿勢として全体として理念を取り入れていくことを考えており、施策の1つの中に特記することまでは考えていない。
29		5 市民スポーツ・市民文化	66	基本方針1	井出委員	国は生涯スポーツ社会の実現を目指すとしており、総合計画の中でも基本方針に示すべきではないか。	修正	基本方針の文中の「スポーツ活動の推進」を「生涯スポーツの推進」に修正。施策名も同様に修正。
30				施策1	井出委員	地域総合型スポーツクラブ構想の現状についてどうなっているのか。必要であれば施策に盛り込むべきではないか。	修正	施策1の3つ目の取組において、「スポーツ指導者の育成や総合型地域スポーツクラブ等との連携を図ります。」の文言に修正。
31					井出委員	第2次富士市スポーツ推進計画の検証結果を活かすべきではないか。	参考	検証結果は盛り込み済み。
32	施策2			深川委員	もう少し積極的な文化芸術活動を市が主体的にやることを盛り込んでほしい。	修正	施策2の1つ目の取組において、「新たな文化芸術の創造や若手芸術家の育成を進めるとともに、公募展や文化祭の開催など、多くの市民が多様な文化芸術活動に参加する機会を創出します。」との文章に修正。	
33		井出委員	富士市文化振興基本計画の検証結果を活かすべきではないか。	参考	検証結果は盛り込み済み。			
34	基本目標3	1 保健	67・68	現状と課題1 施策1	渡邊委員	死亡原因として自殺率が高いことも本市の特徴なので、何かしら触れられないか。	修正	「心の病」の文言を追加。 併せて、施策1において、自殺対策に係る取組として「心の健康づくりに関する教育を推進し、悩みやストレス等への適切な対応や早めに相談する意識の醸成を図ります。」を追加。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容	
35	基本目標3	1 保健	67・68	現状と課題2 基本方針2 施策2	井出委員	新型コロナ感染症に限らず、今後も感染症は発生するので基本方針へ反映するべき。	修正	現状と課題の2において、「感染症の流行に対して適切に対策を行う」との文言を追記。 また、基本方針の2において「ほか、関係機関と連携して感染症対策に取り組み」との文言を追記。 さらに、施策2において、感染症予防に係る取組して、「感染症予防に関する正しい知識の普及を図ります。」との文言を追記。	
36			67	現状と課題2	来住委員	専門用語(標準化死亡比)に注釈をつけてほしい。	修正	ページ下部に注釈を追加。	
37			67	グラフ	渡邊委員	がんの死亡比について具体的に知りたい市民も多いはずなので詳しく現状を示せないか。	修正	大腸がん以外のがんの死亡比についても示すグラフに差し替え。	
38					清委員	大腸がん以外のがんの死亡比はどうか気になる場所であり、示していくことはできないか。	修正	同上	
39			68	施策1	遠藤委員	食育について、「子どもの頃からの基本的な生活習慣」とあるが、「子ども」といっても幅が広いので明確にした方がよい。	修正	「生涯を通じ各ライフステージに応じた望ましい」との文言に修正。	
40					渡邊委員	ジェネリック医薬品の利用促進や医療費適正化は直接的に疾病予防に繋がらない。 ジェネリック医薬品に関してあえて入れなくてもいいのではないか。	修正	ジェネリック医薬品の利用促進は削除し、国民健康保険事業において取り組む疾病予防に係る施策を追加。	
41						国民健康保険事業の記載があるが、組合健保や協会健保などもあるので、記載に工夫が必要ではないか。	修正	施策との関連性が薄い内容であるため、「国民健康保険事業の健全運営」との文言を削除。	
42			2 医療	69	基本方針1	清委員	医療に関しては、コロナの影響がないということはないと思うので、少しでも記述することは必要ではないか。	修正	1つ目に「地域医療体制の充実や感染症対策の強化に向け」の文言を追加。
43				70	施策2	深川委員	看護専門学校定の定員増や、4年制看護大学への移行を位置づけられないか、検討だけでも前期計画から位置付けるべきではないか。	修正	具体的方向性を現時点で示すことはできないため、「今後のあり方を検討します」との文言を追記。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容	
44		3 包括的支援	71	現状と課題1 (グラフ)	清委員	要介護認定者数が示されているが、具体的には何が問題となっているのか分かるようにしてほしい。	修正	主な課題として、「要介護リスクの上昇」と「認知症高齢者等の支援を必要とする人の増加」について追記。 また、グラフについても、高齢化の更なる進行を示すため、「要介護認定者数(1号被保険者)」のグラフを「前期高齢者数、後期高齢者数の変化」を示すグラフに差し替え。	
45			72	施策3	井出委員	「主な構成事業」に「ユニバーサル就労支援事業」が入らないか。	修正	一つの事務事業が複数の政策分野にまたがることはできないため、「構成事業」には追記しないが、ご意見を踏まえ、相談窓口の具体的な名称である「ユニバーサル就労支援センター」を施策内容に追記。	
46	基本目標3	4 地域福祉	73	現状と課題1、2	清委員	在宅高齢者世帯数が示されているが、具体的には何が問題となっているのか分かるようにしてほしい。	修正	基本方針や施策内容との繋がりを再整理。現状と課題の1は、地域での支え合い・助け合いの体制づくりが求められていること、現状と課題の2は、社会参加の場づくりや住民自らが福祉活動の担い手となる必要があることについて記載。	
47					遠藤委員	「世帯の核家族化、ひとり親世代の増加」について記載があるが、基本方針では触れられおらず、問題をどのように捉えているか読み取れない。	修正		
48				グラフ	渡邊委員	「ひとり暮らしの高齢者」のデータを追加できないか。	修正		70歳以上の在宅高齢者のひとり暮らし数についても併せて示したグラフへ修正。
49				74	施策	井出委員	「地域共生社会の実現」との文言が入らないのはなぜか。また、4番目の施策として地域福祉計画の全体的な推進を位置付けてはどうか。		修正